

自動運転車両の実験運行を実施します

お知らせ 自動で走る未来の車
一足先に体験してみませんか

佐賀県地域で自動運転車両実験運行を実施します。過疎地域における移動手段、ドライバー不足など、地域公共交通の課題解決に向けた取り組みとして、多くの自動運転車両の活用を期待しています。詳しくは



自動運転車両
運行区間など

延期になりました

- 運行期間：11月19日(金)～28日(日)
※雨天時等、運休する場合があります。
- 乗降場所：佐賀県市民センター、佐賀県病院、国道九四フェリー、関あじ関さば直売所 ※一部区間は手動運転となり、フリー乗降できます。
- 乗車方法：当日受付か事前予約(グリーンスローモビリティLINE公式アカウントで11月11日(木)から希望運行日の前日まで事前予約を行うことができます。)



◀グリーンスローモビリティLINE公式アカウント

☎ 都市交通対策課 ☎537-5969

地産地消イベント「おおいたマルシェ」を開催します

イベント 地元産品の美味しさや魅力を
紹介します

大分の食や地産地消をテーマとしたイベント「おおいたマルシェ」を開催します。新鮮野菜をはじめ、地元農林水産物を使用した総菜・スイーツ



など加工品の販売やステージイベントを行います。「おおいたの美味しい！楽しい！」を体験してみませんか。

- 日時：11月6日(土) 午前9時45分～午後4時
7日(日) 午前10時～午後4時
- 場所：大分いこいの道広場 (J:COMホルトホール大分西側)

☎ おおいたマルシェ実行委員会事務局 ☎537-7025

第5回「おおいたNPO博」を開催します

イベント 市民活動団体が活動内容を
発表します

今年で5回目となる「おおいたNPO博」は、市内で活躍する市民活動団体の活動内容を多くの市民に知ってもらうためのイベントです。各団体が、ブース・ステージ・遊び広場で、自分たちの活動を発表します。会場内で行われるシールラリーでは、先着順で参加賞をお渡しします。参加費は無料です。ぜひお越しください！



- 日時：11月23日(火) 午前11時～午後4時
- 場所：お部屋ラボ 祝祭の広場(府内町一丁目)
- その他：来場者には、先着順で「パルクンオリジナルコットンバッグ」を配布します。

☎ ライフパル ☎573-3770

スイスフェア

イベント 共生社会ホストタウンイベント
を開催します

「共生社会ホストタウン」の交流相手国であるスイス連邦との交流を深めるとともに、心のバリアフリーの推進を図るために「スイスフェア」を開催します。「スイスフェア」は県が実施する第40回記念大分国際車いすマラソン開会式イベントと共同で開催し、当日はスイスの文化の紹介や(公財)アルゲリッチ芸術振興財団推薦アーティストによる演奏などが行われます。



- 日時：11月20日(土) 午後1時30分～3時
- 場所：お部屋ラボ 祝祭の広場(府内町一丁目)

☎ 障害福祉課 ☎537-5785

心のバリアフリーについて考えてみませんか

「心のバリアフリー」とは、さまざまな心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。「心のバリアフリー」を考える一つの例として、「バリアフリー施設」の正しい使い方について考えてみましょう。

☎ まちなみ企画課 ☎585-6004

バリアフリー施設の正しい使い方

障害者用駐車スペース、多機能トイレ等、誰もが利用しやすい環境づくりが少しずつ進められています。しかし、一人ひとりの態度が変わらなければ、誰もが生きやすい社会は実現しません。利用するときは、必要な人が居ることを考え、不必要な利用は控えましょう。

バリアフリースイット※1



障害者用駐車スペース※2



点字ブロック※3



- ※1 車いす使用者が利用できる広さや手すりなどに加えて、おむつ替えシート、オストメイト対応設備などを備えることで、車いす使用者だけでなく、多様な人が利用可能としたトイレのことで。
- ※2 車いす使用者、高齢者、妊産婦など、歩行が困難な人が、駐車場内を横断することなく安全に利用できるように設けられています。
- ※3 点字ブロックの上やその周囲に障害物があると大変危険です。点字ブロックの上に立ち止まらない、自転車や看板、荷物などを置かないようにしましょう。

11月11日は「介護の日」です

介護に疲れたり、
悩んでいませんか？



介護は、する人もされる人も不安や孤独を感じて疲れ切ってしまったたり、追い詰められてしまうことがあります。これは誰にでも起こりうることです。公的支援や地域の協力などを通して、無理のない介護をしましょう。 ☎ 長寿福祉課 ☎537-5771

「ついイライラしてしまう」「経済的に苦しい」「介護を一人で行っている」などさまざまな要因が積み重なって…

こんな経験は
ありませんか？

- 何度も同じことを聞いてくるので、無視したり、大声を出したことがある
- 年を取ると食事や水分は少量でいいので制限していいと思った
- 外出すると迷子になるので、勝手な外出を防ぐために部屋に鍵を掛けた など

あなたがやっている介護に、無理は生じていませんか？
とにかく、抱え込まず、誰かに相談しましょう

地域包括支援センターやケアマネジャー、介護経験者などに、相談したり思いを聞いてもらいませんか？
「認知症カフェ」など、介護をしている人が集う情報交換の場もあります。

介護サービスを上手に活用しましょう

デイサービスやショートステイなど、介護の方法や生活環境、ご本人の状況に合わせた介護サービスがあります。詳しくは、各地域包括支援センターへお問い合わせください。

介護は、介護をする人の“心と体の健康”が大切です。
自分をいたわる心を忘れずに、頑張りすぎない介護を心掛けましょう。